

## 総括

[目的] 地域に根差した産業を核とした産業の集積（クラスター）を推進  
 （一次産業から三次産業までの多様な仕事を創出 + 地域の経済波及効果）

### [成果]

- (1) これまでのプロジェクトの取り組みを通じて、クラスターの核となる一次産業では一定の基盤整備が整い、生産拡大や雇用の創出が図られてきた。
- (2) 二次、三次産業の展開が進み、新たな加工品の開発や飲食店でのメニュー化等が進み、観光振興につながったプロジェクトも生まれている。

### [課題]

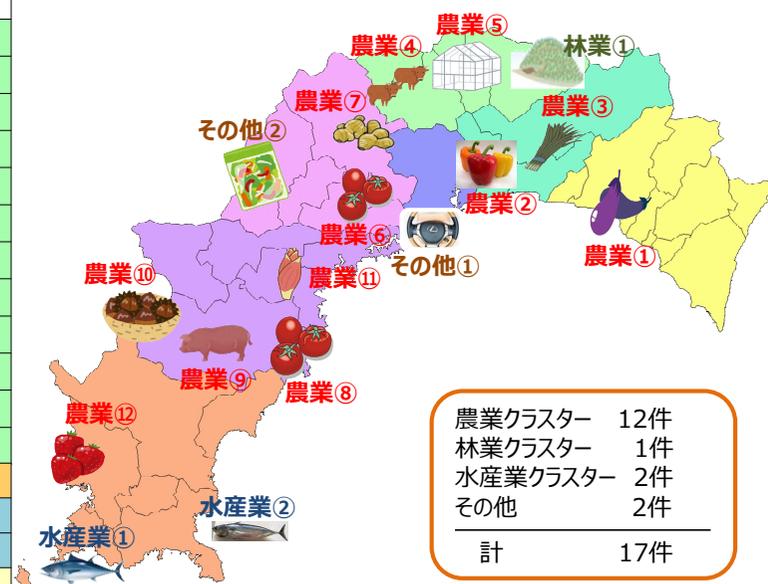
- (1) 二次、三次産業については、一次産業からの展開が十分ではなく大きな広がりにつながっていないプロジェクトがあるなど、各地域の資源を生かした六次産業化の取り組みにとどまっているものが多い。
- (2) 制度開始から約8年が経過し、プロジェクトを取り巻く環境の変化により、加工用青果の調達難や原魚不足等、当初想定との乖離も発生してきている。このため、今後の取り組みの推進に当たっては、それぞれのプロジェクトの進捗や課題、取り組み内容に応じた支援方法の見直しが必要。

## 今後の方向性

- (1) 「地域産業クラスタープロジェクト」としての位置づけは見直し、引き続き一次産業から三次産業までの多様な仕事の創出に取り組むものについては、地域アクションプランの下で一体的に推進する。
- (2) プロジェクトの取り組みが軌道に乗っているものについては、自立を検討する。
- (3) 一次産業から二次・三次産業への展開が見込めないなど、クラスターの形成が困難なものについては、取り組み内容の見直しを行う。

## 地域産業クラスタープロジェクトの展開

分野	地域	クラスタープロジェクト（CP）名	主な指標と評価			
			一次	二次	三次	
農業	安芸	①日本一のナス産地拡大CP	出荷量 S	加工品開発数 A	—	
		物部川	②南国市農業CP（ニラ、シシトウ、ピーマン類、還元野菜）	生産量 B	新商品数 D	—
			③日本一のニラ産地拡大CP	販売額 B	—	イベント日数 S
	嶺北	④嶺北畜産CP（土佐あかうし、大川黒牛、土佐はちきん地鶏）	あかうし販売額 S	—	さめうら荘利用者 D	
		⑤本山町施設園芸生産拡大CP（パプリカ）	出荷量 A	—	交流人口拡大 S	
	仁淀川	⑥日高村トマト産地拡大CP	販売額 B	商品開発件数 B	オムライス販売数 B	
		⑦いの町生姜生産・販売拡大CP	出荷量 S	加工品開発数 S	—	
	高幡	⑧四万十次世代ハウス団地におけるトマト等栽培の経営強化CP	販売額 C	加工品売上額 —	—	
		⑨四万十のうまい豚CP	出荷頭数 C	加工品売上額 S	—	
		⑩四万十のうまい栗・芋CP	JIA集荷量 B	加工品売上額 S	—	
		⑪くろしおミョウガ生産拡大CP	出荷量 A	—	メニュー定番化 S	
幡多	⑫宿毛市イチゴ・柑橘成長CP	イチゴ販売額 A	—	加工品等開発 S		
林業	嶺北	①嶺北林業CP	素材生産量 B	加工品売上額 D	研修宿泊者数 D	
水産業	幡多	①宿毛・大月養殖ビジネス高度化CP	マダイ生産 S	加工品出荷額 B	観光入込客数 D	
		②土佐清水メジカ産業CP	漁獲量 D	宗田節出荷数 C	観光入込客数 B	
その他	高知市	①竹資源活用CP	売上額 —	加工品売上額 D	—	
	仁淀川	②仁淀川町における(株)フードプランを核としたカット野菜事業CP	農業従事者数 A	端材活用量 A	入込客数 —	



※「評価」は、代表的な数値目標に対する達成見込み。評価基準は地域アクションプラン（資料2-3）と同じ。

## 【商工業】 竹資源活用クラスタープロジェクト

県産竹材を活用した素材生産や製品加工を拡大するとともに、竹材の集荷や一次加工、竹加工品の販売など竹資源を活用した新たな事業を展開し、竹産業の振興と中山間地域における雇用の創出を図る。

地域:高知市

実施主体:(合)高知竹材センター、(株)コスモ工房、弘田竹材店

取り組み の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・竹材の集積・供給体制の構築</li><li>・事業計画の策定</li><li>・商談会出展による販路開拓</li><li>・竹ハンドルに替わる新商品の開発</li></ul>	
主な 成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・売上高(年間) R元：8,196万円 → R4：7,386.5万円</li><li>・雇用者数(年間) R元：20名 → R4：13名</li></ul>	
今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>・竹ラミナ技術の継承に向けた支援の検討</li><li>・必要に応じた関係機関との連携</li></ul>	